

## **IV 平成 25 年度の研究所活動記録**



## IV 平成 25 年度の研究所活動記録

### 1 調査・政策研究に関する活動

#### (1) スタート研究

平成 24 年 10 月からの“スタート研究”として、今後の様々な研究の基礎となる調査・研究に着手した。

熊本市のまちづくりの変遷が概観できるような史料の整理、分析等を目指し、熊本市域における地域認識・歴史認識の共有化に資する研究を行った。平成 26 年度に、これらの研究の成果を、明治 22 年の熊本市の市制施行時から昭和 22 年の終戦・戦災復興実施直前までの期間について都市形成史図集として取りまとめ、発刊する予定である。

また、GIS を導入し、地理的・地勢的状况を共有化できるような地図情報を整理し、今後の調査研究、政策立案に活用するデータ集を作成した。(平成 26 年度も継続。)

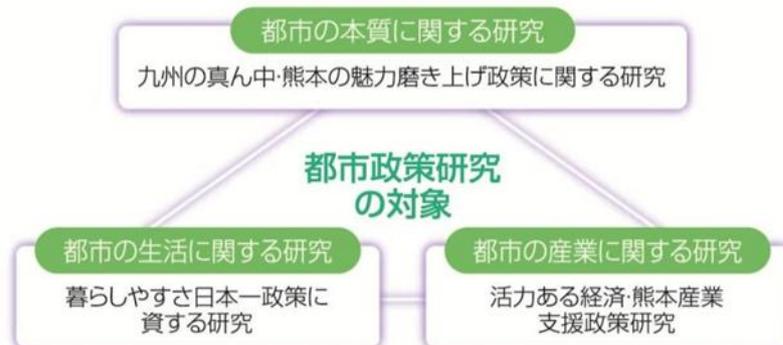
スタート研究：様々な研究の基礎となる調査・研究

#### 地域認識・歴史認識の共有化に資する研究

- ・熊本市の都市形成史図集の作成
- ・調査研究、政策立案に活用するための基礎資料（GIS データ）の整備

#### (2) 研究フレーム

熊本市域の地域認識、歴史認識の共有化に資する研究を進めるとともに、熊本都市圏のさまざまな都市問題やまちづくりに貢献することを念頭に、政令指定都市・熊本の中長期的なまちづくりに資する調査研究活動を行った。



<各研究員の取り組んだ研究テーマの位置づけ>

■都市の本質に関する研究

- ・政令指定都市「熊本」の合併の歴史的変遷と現在
- ・熊本市の人口動態の分析及び福岡市との比較考察
- ・ソーシャル・キャピタルの今日的意義と都市政策への応用可能性
- ・城下町・熊本の街区要素の一考察

■都市の生活に関する研究

- ・熊本市の都市緑化政策の評価と課題
- ・熊本市における公共交通と特定公共施設分布の関係分析に基づく都市形成の考察
- ・明治期における修学旅行に関わる交流について

■都市の産業に関する研究

- ・地域共有財産の保全活動における民間企業と行政の連携  
－熊本地域の地下水保全事業の事例から－

### (3) その他の活動

#### ①「水銀条約外交会議」ウォッチング

平成 25 年 10 月 7 日から 11 日までの日程で、熊本市及び水俣市において、閣僚級が出席する 60 か国以上を含む 139 の国・地域の政府、国際機関、NGO 等の関係者 1,000 人以上が出席する「水銀に関する水俣条約」の外交会議及びその準備会合が開催された。本研究所においてはこの機会を捉え、「熊本市の国際化」という視点でウォッチングを行った。

<ウォッチング範囲>

会場のホテル日航熊本周辺、上通り・下通り、サンロード新市街、交通センターまでの範囲

<ウォッチング概要>

街なかの表記においては商店街を含め外国語表記が少なく、外国人向けパンフレットなどとともに外国語表記を今後更に増やしていくことにより、外国人に分かりやすい都市になると考えられる。食事に関しても、宗教への配慮などレストランなど広く対応していく必要がある。

また、国際会議が行われることは経済効果の面だけでなく、会場となるホテルや宿泊ホテルなどにおけるサービスの質の向上、おもてなし力向上にもつながり、その面でも大きな効果があると考えられる。

さらに、今回の水銀条約外交会議のような大きな国際会議では、熊本市国際交流会館で語学ボランティアの全体調整も行われた。また国際交流会館には、事前に食事先や観光スポットの問い合わせもあったとのことで、熊本市の国際化を考える上で国際交流会館の役割は重要である。

## ②「熊本城マラソン 2014」ウォッチング

平成 26 年 2 月 16 日開催の「熊本城マラソン 2014」は、今回で 3 回目を向かえ 1 万 3 千人のランナー参加となり本市最大のスポーツイベントとなっている。本研究所では、この熊本城マラソンについてランナー受付日とマラソン開催当日にウォッチングを行った。

### ＜ウォッチング日及び範囲＞

ランナー受付日：平成 26 年 2 月 14 日・15 日（辛島公園、サンロード新市街、下通り）

マラソン開催日：平成 26 年 2 月 16 日（スタート及びフィニッシュ会場・コース周辺）

### ＜ウォッチング概要＞

まちの賑わいにおいては、ランナー受付日は受付会場からサンロード新市街・下通りまで、ランナーや市民の滞留も多く賑わいにつながっているようだった。また開催日当日のフィニッシュ会場から城彩苑を通る導線も多く賑わいが見られた。熊本城内では「熊本城跡は国指定特別史跡です」ののぼりが立てられ、文化財保護への協力も呼びかけられていた。

多くのランナーや応援者などへの安全確保については、ランナー受付会場や辛島町電停スクランブル交差点で声かけ、プラカードによる誘導が行われており、マラソン開催当日ではランナーや応援者の安全確保など多くのボランティアなどの協力も得て対応が行われていた。

ランナーへの配慮の面で、ランナーの荷物預かり所や返却では、集合時間前に集中していたがボランティアの協力で手順よく運営されていた。仮設トイレの設置では、花畑町交差点から通町筋まで相当数が歩道上等に配置され、一時期に集中し混雑が見られたがランナーは誘導に従い利用していた。

## 2 情報収集・発信に関する活動

### (1) 年報の刊行

当研究所の調査研究活動をはじめ情報収集・発信、人材育成に関する年間の活動等について整理した年報を作成している。平成 25 年度においては平成 24 年度の活動に関する年報（熊本都市政策 Institute of Policy Research, Kumamoto city Annual Report 2012 熊本市都市政策研究所 年報 vol. 1）を作成した。

### (2) 研究所パンフレットの作成

研究所の概要を広く発信するためのパンフレットの平成 25 年度版を作成し、関係機関への配付のほか、講演会等での配付を行った。(150 ページ～参照)

### (3) 研究所ホームページの充実

平成 24 年 10 月 1 日に熊本市都市政策研究所ホームページを熊本市ホームページ内に開設した。このホームページを活用して研究所の目的、機能、組織、活動内容等について広く情報発信した。

このホームページには、以下の内容を掲載している。(平成 26 年 3 月現在)

- 研究所からの挨拶：所長挨拶
- 熊本市都市政策研究所について  
：設置経緯・目的、研究所の機能、スタッフ紹介
- 研究テーマの紹介：実施中の研究の紹介
- 講演会・研修会：講演会の案内、報告
- 所長の発言等：学会誌や各種雑誌などにおける所長の発言

【参考】ホームページの充実を図るため、追加更新を行った。平成 25 年度の主な追加更新は、次のとおりである。

(更新期日)	(追加更新内容)
平成25年 4月 1日	第3回講演会の案内記事を追加
4月 19日	所長の発言に記事を追加
5月 9日	活動報告の記事を追加(水保全課と意見交換)
5月 15日	第3回講演会の開催概要を追加
5月 17日	第4回講演会の案内記事を追加
5月 23日	所長の発言に記事を追加
5月 31日	第1回・第2回の講演録を追加
6月 18日	活動報告の記事を追加(シティエフエムで情報発信)
6月 21日	ニュースレター創刊の記事を追加
6月 27日	都市政策(年報)を掲載【熊本都市政策 vol.1】
7月 9日	第4回講演会の開催概要を追加 第3回講演録を追加
7月 8日	所長の発言に記事を追加
7月 12日	第5回講演会の案内記事を追加
7月 23日	活動報告の記事を追加(シティエフエムで情報発信)
7月 25日	活動報告の記事を追加 (第5回研修会に係る事前研修会開催)
8月 8日	第4回講演録を追加
8月 19日	活動報告の記事を追加(シティエフエムで情報発信)
8月 23日	第6回講演会の案内記事を追加
8月 27日	第5回講演会の開催概要を追加
9月 13日	ニュースレター第2号の記事を追加
9月 26日	活動報告の記事を追加(シティエフエムで情報発信)
10月 14日	第5回講演録を追加
10月 18日	活動報告の記事を追加(シティエフエムで情報発信)
10月 29日	第6回講演会の開催概要を追加
11月 15日	活動報告の記事を追加(シティエフエムで情報発信)
11月 20日	活動報告の記事を追加 (第5回研修会に係る事後研修会開催)
12月 5日	第7回講演会の案内記事を追加

	12月10日	第6回講演録を追加
	12月19日	活動報告の記事を追加（シティエフエムで情報発信）
平成26年	1月8日	ニューズレター第3号の記事を追加
	1月14日	活動報告の記事を追加（シティエフエムで情報発信）
	1月31日	活動報告の記事を追加 （第7回研修会に係る事前研修会開催）
	2月17日	第7回講演会の開催概要を追加
	2月27日	活動報告の記事を追加（シティエフエムで情報発信）
	3月12日	第7回講演録を追加
	3月19日	活動報告の記事を追加（シティエフエムで情報発信）
	3月25日	第8回講演会の案内記事を追加

(4) ニューズレターの発行

平成25年度から年間4回の『IPRK 熊本市都市政策研究所ニューズレター』を発行している。都市形成の歴史を読み取ることができるかつての熊本市の地図や講演会の概要などの紹介をした。(152ページ～参照)

発行月	主な内容
創刊号 平成25年6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創刊にあたって（所長あいさつ）</li> <li>・研究所の役割と組織</li> <li>・平成24年度 第1回・第2回講演会報告（要旨）</li> <li>・表紙地図紹介『熊本市都市計画総覧』昭和5年（1930）</li> </ul>
第2号 平成25年9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度 第3回・第4回講演会報告（要旨）</li> <li>・研究コラム ～熊本市西区河内町発祥の『河内晩柑』～</li> <li>・表紙地図紹介 熊本市三大事業記念共進会案内地図添付『熊本市街地図』大正14年（1925）</li> </ul>
第3号 平成25年12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年にあたって（所長あいさつ）</li> <li>・研究コラム ～産業連関表について～</li> <li>・平成25年度 第5回・第6回講演会報告（要旨）</li> <li>・表紙地図紹介 『最新熊本市街地図』大正8年（1919）</li> </ul>
第4号 平成26年4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度 第7回講演会報告（要旨）</li> <li>・研究コラム 人口データに見る年齢別の人の動き ～熊本市と福岡市の魅力の違いとは～</li> <li>・表紙地図紹介 『熊本地図（裏面）』昭和6年（1931）</li> </ul>

(5) ニュースメールの配信

月に1回程度、「IPRKニュースメール」を希望する方（講演会や研修会の参加者など）に配信した。

◆ニュースメール概要

発行日	主な内容
No. 1 平成 25 年 6 月 13 日	・ 第 4 回講演会開催の案内 ・ シティエフエム『校区のチカラ』出演の案内
No. 2 平成 25 年 8 月 1 日	・ 第 5 回講演会開催の案内 ・ 熊本都市政策 vol. 1 (年報 2012) 創刊の案内 ・ ニュースレター創刊号発行 ・ シティエフエム『校区のチカラ』出演の案内
No. 3 平成 25 年 9 月 4 日	・ 第 6 回講演会開催の案内 ・ シティエフエム『校区のチカラ』出演の案内 ・ 第 5 回講演会開催報告
No. 4 平成 25 年 11 月 6 日	・ 第 7 回講演会開催の案内 ・ シティエフエム『校区のチカラ』出演の案内 ・ 第 6 回講演会開催報告
No. 5 平成 26 年 12 月 9 日	・ 第 7 回講演会開催の案内 ・ シティエフエム『校区のチカラ』出演の案内 ・ 政策統計に係る事前研修会開催報告
No. 6 平成 26 年 1 月 8 日	・ 第 7 回講演会開催の案内 ・ シティエフエム『校区のチカラ』出演の案内 ・ ニュースレター第 3 号発行
No. 7 平成 26 年 3 月 13 日	・ 第 8 回講演会開催の案内 ・ シティエフエム『校区のチカラ』出演の案内 ・ 第 7 回講演会開催報告

(6) ラジオでの情報発信

都市政策研究所の情報発信活動の一環として、広く市民に対して本市のまちづくりに資する研究情報や話題の提供を行うために、ラジオに平成 25 年 6 月から 3 月まで 10 回出演した。

出演番組：『校区のチカラ』／熊本シティエフエム

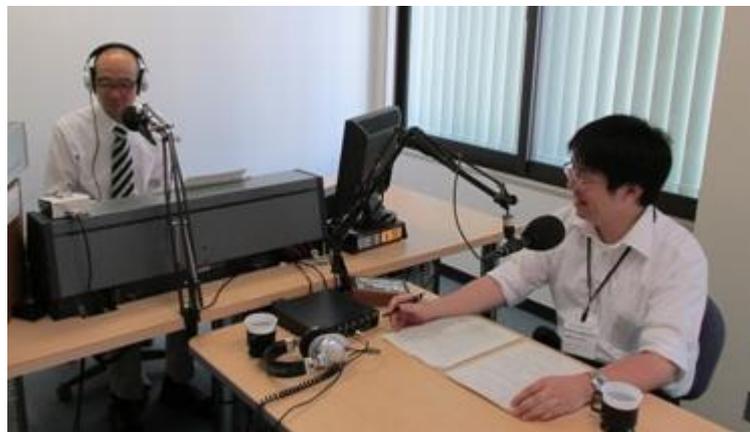
同番組中の「もっと知りたい熊本～都市政策談話室～」のコーナーに出演

放送：第 2 金曜日 13:30～ 15 分程度 (生放送)

◆番組概要

発行日	テーマ
第 1 回 平成 25 年 6 月 14 日	「長寿企業・ファミリー企業について」 研究員 渡辺 亨

第 2 回 平成 25 年 7 月 12 日	「明治後期における熊本の地域認識について」 — 『地理教育鉄道唱歌』を手がかりに 研究員 松永 歩
第 3 回 平成 25 年 8 月 9 日	「くまモンの秘密について」 研究員 久保 由美子
第 4 回 平成 25 年 9 月 13 日	「熊本市都市政策研究所とは」 所 長 蓑茂 壽太郎
第 5 回 平成 25 年 10 月 11 日	「熊本市動植物園の歴史とこれからの動物展示について」 研究員 長 和史
第 6 回 平成 25 年 11 月 8 日	「昭和初期の熊本市域における公共交通」 研究員 堀 満
第 7 回 平成 25 年 12 月 13 日	「ソーシャル・キャピタルとは何か」 研究員 武村 勝寛
第 8 回 平成 26 年 1 月 10 日	「明治期における教育交流としての修学旅行」 研究員 松永 歩
第 9 回 平成 26 年 2 月 14 日	「データで見る熊本市の人の動きと都市の魅力」 副所長 植木 英貴
第 10 回 平成 26 年 3 月 14 日	「はばタン」～東日本大震災から 3 年目に思う～ 研究員 久保 由美子



ラジオ出演

(7) ケーブルテレビでの情報発信

情報収集・発信に関する活動の一環として、熊本市から毎月タイムリーな情報をお送りする熊本市の広報番組で、都市政策研究所の活動内容を紹介した。

出演番組：『クローズアップくまもと』2014 年 3 月号／JCNくまもと（地上デジタル 10ch）

放映：平成 26 年 3 月中、毎日午前 8 時～・午後 6 時～ 各 10 分間

(8) 学会等への参加

研究活動のため、各種学会等に所属するとともに研究発表会等に参加するなど最新の情報収集するとともに、市役所内への情報提供を行う。また、研究に関連するその他の学会やシンポジウム等にも参加している。

【所属学会等】

日本公共政策学会、日本都市計画学会、日本造園学会、農村計画学会、日本建築学会、指定都市まちづくりシンクタンク連絡協議会

【参加・出席・聴講した研究発表会等】

参加・出席・聴講した研究発表会等	期 日
第 17 回 自治体総合フェア-2013	H25 年 5 月 16 日～5 月 17 日
地方財政学会 第 21 回大会	H25 年 5 月 18 日～5 月 19 日
平成 25 年度日本造園学会全国大会	H25 年 5 月 24 日～5 月 26 日
日本商業学会 第 63 回全国研究大会	H25 年 5 月 25 日～5 月 26 日
日本公共政策学会 2013 年度 第 17 回研究大会	H25 年 6 月 1 日～6 月 2 日
サステイナブル・オランダ・セミナー-2013	H25 年 6 月 7 日
第 32 回 城下町シンポジウムメインフォーラム	H25 年 6 月 9 日
第 21 回指定都市まちづくりシンクタンク連絡協議会総会	H25 年 10 月 31 日
日本都市計画学会学術研究論文発表会	H25 年 11 月 9 日～11 月 10 日
農村計画学会秋季大会学術研究発表会	H25 年 11 月 30 日～12 月 1 日
第 16 回都市政策研究交流会「都市の調査活動の技法と課題」	H25 年 11 月 11 日
国際日本学会 第 9 回研究発表大会	H25 年 12 月 7 日
第 7 回 九州ランドスケープセミナー	H26 年 1 月 10 日
平成 25 年度 URC アジア情勢報告会	H26 年 2 月 20 日
福岡77都市研究所平成 25 年度市民研究員研究成果発表会	H26 年 2 月 23 日
平成 25 年度 第 4 回都市セミナー	H26 年 2 月 24 日

(9) IBA（国際建築博覧会）アカデミー会議への参加

IBA（国際建築博覧会）は、1901 年から、ドイツの各地域における都市課題に応じて開かれている。2014 年 3 月に IBA アカデミー会議がハイデルベルク市で開催されることとなり、ハイデルベルク市が本市の友好都市であることから、その招きにより所長ほか 2 名が同会議へ出席した。

また、エッカート・ヴェルツナー・ハイデルベルク市長を表敬し、幸山政史熊本市長の親書を手渡した。

【出席者】 蓑茂 壽太郎 所長（市長代理として出席）  
長 和史 研究員（主査）  
渡辺 亨 研究員

①IBA サミットへの参加

蓑茂所長が「都市再デザインの時代」と題し、熊本市の取り組みに関するプレゼンテーションを行った。また、ドイツをはじめアメリカ、フランス、オランダ等の各国の参加研究者から「知識基盤の都市計画」に関して情報収集を行うとともに、意見交換を行った。

②ハイデルベルグ市役所での政策ヒアリング調査・意見交換

ドイツ・ハイデルベルク市の公園・緑に関する政策に関して、ハイデルベルク市森林管理局バーダー局長から、都市の緑を保全・創出するための施策、公園や緑地の管理、管理における市民の関わり方、ドイツ人の生活（ライフスタイル）の中での公園、広場などの使い方などについて説明を受けるとともに意見交換を行った。

### 3 人材育成に関する活動

#### (1) 講演会、研修会の開催

職員の政策立案能力の向上を図るため、平成 24 年度の研究所設立以来、本市職員を対象とした講演会を実施している。講演会については、市民や各関係機関職員のほか、熊本都市圏をはじめ県内の基礎自治体職員を対象とするなど、県内他都市自治体職員の政策立案能力の向上にも役立つ研究所を目指している。

平成 25 年度においては、第 3 回から第 7 回までの 5 回の講演会を行った（69 ページ～Ⅲ 講演会録参照）。講演会の後には講演会の講師を交えて意見交換会を行った。

また、講演会の内容に応じて、講演会の前後に研修会を実施した。

#### ◆ 熊本市都市政策研究所 講演会 概要

	日時・会場	講演者・テーマ	参加者数
第 3 回	平成 25 年 5 月 10 日(金) 15:00～17:00 熊本市役所 14 階大ホール	生源寺 眞一 氏 (名古屋大学農学部教授) 「日本の農業の活路を探る」	232 名
第 4 回	平成 25 年 7 月 2 日(火) 15:00～17:00 熊本市国際交流会館 7F ホール	涌井 雅之 氏 (東京都市大学教授・造園家) 「都市づくりと流域環境思考」	210 名
第 5 回	平成 25 年 8 月 22 日(木) 15:00～17:00 熊本市役所 14 階大ホール	清水 雅彦 氏 (慶応義塾常任理事) 「地域経済の再生と構造変化」	120 名
第 6 回	平成 25 年 10 月 11 日(金) 15:00～17:00 熊本市役所 14 階大ホール	明石 照久 氏 (熊本県立大学教授) 「市民協働のまちづくり～ワークショップを知ろう～」	127 名
第 7 回	平成 26 年 2 月 7 日(金) 15:00～17:00 熊本市国際交流会館 7F ホール	小林 英俊 氏 (公益財団法人日本交通公社シニア・フェロー) 「元気で楽しい都市に観光客はやってくる」	200 名



第 4 回講演会



第 5 回講演会

## ◆ 熊本市都市政策研究所 研修会 概要

	日時	講演者・テーマ	参加者数
第 1 回	平成 25 年 7 月 23 日 (金) 13:00~14:00	小田 正 氏 (公益財団法人地方経済総合研究所 調査二部長) 第 1 回「産業連関表の仕組みや見方について」	各回 41 名
	平成 25 年 8 月 2 日 (金) 13:30~15:00	第 2 回「産業連関表の活用事例について」 ※都市政策研究所第 5 回講演会の事前研修会【統計課との共催】	
第 2 回	概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業連関表とは、産業構造における需要と供給のバランスを一目で理解することができる統計表。</li> <li>・産業連関表は経済波及効果の分析にとどまらず、様々なシミュレーションを行うことで政策策定ツールとして利用可能（「のこ」や「かんな」のように使いこなすことが重要。）。</li> <li>・熊本市産業連関表 2010 年度「模擬版」を用いて、社会状況の変化、施策がどのような産業に影響を及ぼすかシミュレーションの試行。</li> </ul>	
第 3 回	平成 25 年 10 月 22 日 (火) 9:30~17:00	加留部 貴行 氏 (九州大学大学院 客員准教授) PI 研修「実践！対話の場づくり」 ※都市政策研究所第 6 回講演会とセット研修【市民協働課 主催】	21 名
	概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの考え方と体験</li> <li>・共同を促す対話の場づくりの事例</li> <li>・対話で市民と行政の間のギャップを埋めていく</li> </ul>	
第 4 回	平成 25 年 11 月 12 日 (火) 13:30~15:00	統計課職員、都市政策研究所研究員 「政策統計に係る講演会及び事前研修会」 ※政策統計に係る講演会(11/28 開催)の事前研修会【統計課主催】	39 名
	概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業連関表の内容の理解を深めるフォロー研修。</li> <li>・統計データを加工・分析し政策立案を行う政策統計。</li> <li>・経済波及効果の計算と地域の経済構造分析が「車の両輪」であることの再確認。</li> <li>・産業連関表の具体的な活用方法の紹介（熊本県公表の平成 17 年産業連関表から県の基幹産業を探る。）</li> <li>・基幹統計調査や人口・人口関連統計などの説明。</li> </ul>	
第 5 回	平成 26 年 1 月 24 日 (金) 10:00~11:30	小林 寛子 氏 (東海大学観光ビジネス学科 教授) 「街づくりの新しい視点～地方の宝をどう生かすのか？」 ※都市政策研究所第 7 回講演会の事前研修会	31 名
	概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社が作った団体旅行のような従来の発地型観光ではなく、地域が主役になる新しい観光のあり方である“着地型観光”。</li> <li>・地域の人にしかわからない魅力、逆に地域の人には当たり前すぎて気づかない魅力が共存。これを掘り起こす作業は、地域の見直し作業でもあり、その魅力を磨いていくことも必要。それは、「住んでよし、訪れてよし」の街づくりにとって重要な視点。</li> <li>・多くの熊本の魅力をどうやって発信していくのかという問いかけは、住んでいる人が誇りを持てる街づくりにもつながる。</li> </ul>	



第 4 回研修会



第 5 回研修会

## (2) 登録研究員連絡会議の開催

### ① 登録研究員制度

研究所では、全庁横断的な連携の下で研究活動を行うことを目的として、熊本市役所の組織の 12 局 1 委員会から各 2 名、計 26 名の登録研究員を配置している。登録研究員は、研究所との連絡調整、調査研究にかかる情報収集・研究支援などを行うとともに、研究所が行う講演会等への参加を行った。

### ② 登録研究員連絡会議

研究所と登録研究員との連絡調整・情報共有化・調査研究支援等が円滑に進むよう登録研究員連絡会議を設置しており、平成 25 年度においては、5 月 16 日及び 11 月 14 日に登録研究員連絡会議を開催した。

## 4 研究員活動報告

### 植木 英貴 副所長

---

本市の人口問題をテーマとして、これまでの本市の推計人口の推移、将来人口推計についてデータの収集を行い、今後の人口分析に基礎となる調査を行った。

その中で、今年度は研究報告として、本市と県内自治体との関係、また本市と県外自治体との関係を人口の社会動態に着目しまとめた。その結果、特に注目されたのは、本市の特徴として県内からは転入超過、県外に対しては転出超過となっていた傾向である。また、県外への転出では福岡市への転出が最も多いこと、このほか移動においては男性より女性の動きが活発なことがあげられる。

わが国が人口減少社会に突入する中、本市においても今後人口がどのように減少し人口構造がどのように変化するのか、またそれによって本市の「都市」のあり方にどのような影響を与えるのか、それらを予測し提示していくことは研究所としての大きな役割であると感じている。今後もさらに詳細な人口分析を踏まえ都市政策研究を進めていく。

#### 研究報告

「熊本市の人口の社会動態の分析及び福岡市との比較考察」（『熊本都市政策 vol. 2 (2013) 熊本市都市政策研究所年報』、平成 26 年 8 月）

#### その他

「研究コラム 人口データに見る年齢別の人の動き ～熊本市と福岡市の魅力の違いとは～」(『熊本市都市政策研究所ニューズレター』第 4 号、2014 年(平成 26 年) 4 月)

ラジオ出演「データで見る熊本市の人の動きと都市の魅力」(熊本テレビエフエム「もっと知りたい熊本～都市政策談話室～」、2014 年 2 月)

### 長 和史 研究員

---

熊本市の数少ない造園職として、「森の都」の再生に関する研究をしたいという想いで研究活動をスタートした。「森の都」再生のためには、特に民有地の緑化の政策を進めていく必要があることから、今年度は熊本市の民有地緑化政策を研究テーマとし、森の都再生に向けた今後の課題について提案も含めてまとめた。今後は高齢化・人口減少社会の中での公園緑地政策について研究を進めていきたい。

#### 研究報告

「熊本市の都市緑化政策の評価と課題」（『熊本都市政策 vol. 2 (2013) 熊本市都市政策研究所年報』、平成 26 年 8 月）

### 研修・研究会・学会参加

平成 25 年度日本造園学会全国大会  
2013 年度(第 48 回)日本都市計画学会学術研究論文発表会  
2013 年度農村計画学会秋期大会学術研究発表会  
第 7 回九州ランドスケープセミナー  
IBA\_\_ACADEMY

### その他

名古屋市緑化地域制度ヒアリング  
ラジオ出演「熊本市動植物園の歴史とこれからの動物展示について」(熊本シティエム「もっと知りたい熊本～都市政策談話室～」、2013 年 10 月)

## 堀 満 研究員

---

平成 25 年度は、公共交通と都市施設の関係を調査し、熊本市における都市形成の歴史的な背景について、熊本市歴史文書資料室や関係機関から資料収集を行い、論文やニューズレターの記事としてまとめた。また、西区河内町で発見された「河内晩柑」について、発見の経緯やそれにまつわる新技術の調査を行い、ニューズレターの記事としてまとめた。

### 研究論文

「熊本市における公共交通と特定公共施設分布の関係分析に基づく都市形成の考察」(『熊本都市政策 vol.2 (2013) 熊本市都市政策研究所年報』、平成 26 年 8 月)

### 研修・研究会・学会参加

公共政策学会 2013 年 第 17 回研究大会  
ESRI ジャパン株式会社 ArcGIS for Desktop I 入門編、II 基礎編研修  
公益財団法人福岡アジア都市研究所 第 4 回都市セミナー「“技術×アイデア”で、健康づくりのイノベーション人が集いスタートアップする都市・福岡の形成に向けて」

### その他

「研究コラム～熊本市西区河内町発祥の『河内晩柑』～」(『熊本市都市政策研究所ニューズレター第 2 号』、2013 年(平成 25 年) 9 月)  
「表紙地図紹介『熊本地図(裏面)』1931 年(昭和 6)」(『熊本市都市政策研究所ニューズレター第 4 号』、2014 年(平成 26 年) 4 月)  
ラジオ出演「昭和初期の熊本市域における公共交通」(熊本シティエム「もっと知りたい熊本～都市政策談話室～」、2013 年 11 月)

## 武村 勝寛 研究員

---

都市におけるコミュニティをメインテーマとしながら、熊本におけるソーシャル・キャピタルの現状を把握した上で、都市政策への応用可能性について、研究成果を第7回都市政策研究所講演会で研究員報告した。より詳細な熊本市におけるソーシャル・キャピタルの現状分析に当たって、熊本市におけるソーシャル・キャピタルに関するデータ収集が今後の課題である。

### 研究報告

「ソーシャル・キャピタルの今日的意義と都市政策への応用可能性」(第7回熊本市都市政策研究所講演会研究員報告、平成26年2月)

「ソーシャル・キャピタルの今日的意義と都市政策への応用可能性」(『熊本市政策 vol. 2 (2013) 熊本市都市政策研究所年報』、平成26年8月)

### 研修・研究会・学会参加

日本地方財政学会第22回大会

第27回自治体学会静岡大会

福岡アジア都市研究所「平成25年度 第3回アジア情勢報告会」

### その他

ラジオ出演「ソーシャル・キャピタルとは何か」(熊本テレビエフエム「もっと知りたい熊本～都市政策談話室～」、2013年12月)

## 久保 由美子 研究員

---

「都市の本質とは何か」をテーマに、城下町都市熊本の歴史を考察した。具体的な検討対象は、城下町の各所に兵営地として設けられた「勢屯」(せいだまり)という空地である。城下町は、江戸幕藩体制の成立と同時に「軍事要塞都市」としての側面を止揚し、「領国の政治・経済・社会の中心都市」として独自の展開を繰り広げた。武者の屯集場から町民の広場へとその機能を変化させた、城下町熊本の勢屯は、城下町という都市形態と歩んだ歴史と軌を一つにしていたといえる。次年度も引き続き、都市空間「勢屯」の履歴をたどることを通じて、熊本市の今後のまちづくり・公共空間づくりへの教訓と示唆をひきだして行きたい。

### 研究報告

「江戸の都市空間“勢だまり”の果たした役割の考察—近世熊本城下町におけるその特性と変遷について」(第6回熊本市都市政策研究所講演会研究員報告、平成25年10月)

「城下町・熊本の街区要素の一考察」(『熊本市政策 vol. 2 (2013) 熊本市都市政策研究所年報』、平成26年8月)

## 研修・研究会・学会参加

サステイナブル・オランダセミナー2013  
第 32 回全国城下町シンポジウムメインフォーラム  
日本建築学会九州支部研究発表会

## その他

「表紙地図紹介『最新熊本市街地図』大正 8 年 (1919)」(『熊本市都市政策研究所  
ニューズレター』第 3 号、2013 年 (平成 25 年) 12 月)  
明治から現在までの熊本の都市計画史に関する年表作成  
ラジオ出演「くまモンの秘密について」(熊本テレビ「もっと知りたい熊本～都  
市政策談話室～」、2013 年 8 月)  
ラジオ出演「はばタン」(熊本テレビ「もっと知りたい熊本～都市政策談話室～」、  
2014 年 3 月)  
佐賀県佐賀市および小城市における勢屯跡調査

## 松永 歩 研究員

---

「教育と社会」というキーワードを手がかりに近代の学校教育制度についての研究を行った。明治期の学校成立や変遷に関する年表を作成していく中で、多くの私塾私学が設立されていたことが分かった。そのため明治期の熊本の生徒数は九州の他県に比べ相対的に多かった。これらの学校では、明治初期は漢学を教授する学校多かったが、明治 20 年頃になると英学、数学を教授する学校が増えている。師範学校令や中学校令が 1886 (明治 19) に出されたことから、進学意欲が高まり、私学も増えたと考えられる。これまで官立学校や公立の学校の成立を中心に研究を行ってきたが、私学の成立状況を把握することで、より教育都市としての熊本の軌跡を追うことができるのではないかと考える。この点が今後の課題である。明治期の学校成立や変遷に関する年表は、加筆修正が必要であるため次年度以降に発表する予定である。また、研究を進めていく上で、学校や関係各課において史資料をお借しいただくなどのご協力もいただいた。この場を借りて御礼申し上げたい。

## 研究報告

### 研究所関連

「明治後期における熊本地域の地域認識に関する一考察—『地理教育鉄道唱歌』をてがかりに一」(第 4 回熊本市都市政策研究所講演会研究員報告、平成 25 年 7 月)

”School Excursion and Intellectual Exchange in Meiji Era: A Case of Beginning of Kumamoto-Okinawa Relations” (The International Association

for Japan Studies 2013 Conference, Dec. 7, 2013, Waseda University)

#### 研究所以外

「明治期における沖縄の女性像—実業教育をてがかりに」(『規範の造成学』第5章、勁草書房)

#### 研修・研究会・学会参加

日本公共政策学会第17回研究大会

#### その他

「表紙地図紹介 熊本市三大事業記念共進会案内地図添付『熊本市街地図』大正14年(1925)」(『熊本市都市政策研究所ニューズレター』第2号、2013年(平成25年)9月)

明治期の学校成立や変遷に関する年表作成

戦後熊本市組織図未整備箇所の資料整理(目録、改題作成)

ラジオ出演「明治後期における熊本の地域認識について—『地理教育鉄道唱歌』を手がかりに」(熊本テレビエフエム「もっと知りたい熊本～都市政策談話室～」、2013年7月)

ラジオ出演「明治期における教育交流としての修学旅行」(熊本テレビエフエム「もっと知りたい熊本～都市政策談話室～」、2014年1月)

### 渡辺 亨 研究員

---

都市の産業をメインテーマとしながら、行政と民間企業の連携について地下水保全事業の現状における意義と課題を整理して、研究成果を日本経営学会九州部会で報告した。行政と民間企業が連携するに当たって、利害調整のモデル模索が今後の課題である。

#### 研究論文

##### 研究所以外

「現代企業における石門心学—株式会社半兵麩の事例—」(『熊本学園商学論集』第18巻第2号に掲載)

#### 研究報告

「近代の熊本市における経済発展と社会環境」(第5回熊本市都市政策研究所講演会研究員報告、平成25年8月)

「地域共有財の保全活動における民間企業と行政の連携—熊本地域の地下水保全活動を事例から—」(日本経営学会九州部会)

「地域共有財の保全活動における民間企業と行政の連携—熊本地域の地下水保全事業の事例から—」(『熊本都市政策 vol. 2 (2013) 熊本市都市政策研究所年報』、平成26年8月)

### 研修・研究会・学会参加

第 5 回講演会フォロー研修（報告テーマ：産業連関表の基礎知識）

統計データの活用に関する勉強会（統計課と研究所の共催）

日本商業学会第 63 回全国研究大会

福岡アジア都市研究所「平成 25 年度 市民研究員研究成果発表会」

IBA\_\_ACADEMY

### その他

「表紙地図紹介『熊本市都市計画総覧』昭和 5 年（1930）」（『熊本市都市政策研究所ニューズレター』創刊号、2013 年（平成 25 年）6 月）

「研究コラム 産業連関表について」（『熊本市都市政策研究所ニューズレター』第 2 号、2013 年（平成 25 年）9 月）

ラジオ出演「長寿企業・ファミリー企業について」（熊本シティエフエム「もっと知りたい熊本～都市政策談話室～」、2013 年 6 月）